

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2000/12/13 Vol. 54 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 12 年第 4 回定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会 (12 月定例会) は、現在 21 日 (木曜日) の最終日を残して休会中です。今回から数回にわけて 12 月定例会の報告を行って参ります。

12/6 (水曜日) に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

3. 印西市子どもプランについて

(2) 学校給食食器の更新方針について

11 月 1 日の教育委員会で更新方針が議案として提出され、可決されたが

() 当該プラスチック製食器の導入に向けての第 3 者機関 (例えば国立医薬品食品衛生研究所) の意見は聞いたか？

(回答 / 教育長) プラスチック製食器導入については、厚生省告示第 370 号基準をクリアーしていることの確認により、当面の措置として耐用年数を迎えるもののみ、プラスチック製食器を導入するものであります。なお、安全性の確保については、厚生省指定の検査機関に定期的実施していきたいと考えております。

() プラスチック製食器は「環境ホルモン」溶出の疑いがあり、多くの自治体では給食食器を磁器に変更しているが、なぜ印西市では「プラスチック」なのか。疑わしいものは使わないのが筋ではないか。

(回答 / 教育長) 県内の各市町村の状況を見ると、ポリプロピレン (pp) に変更しているところ、あるいは強化磁器に変更しているところ、ステンレスに変更しているところなどいろいろございます。(ぐんじ注 / 現在、印西市では環境ホルモン溶出が疑わしい、ポリカーボネード食器を使用しています。) 11 月 1 日の教育委員会の学校食器の更新方針に従い、耐用年数を迎える食器を現施設・設備で対応できることを前提に、より安全なプラスチック製食器を導入するものであります。

以上のような執行部の最初の答弁 (最初の質問は「事前に通告しています」ので、執行部は予め回答を準備してあります。) に対して、私は以下の観点から再質問を行いました。

1. プラスチックは本当に安全か？

プラスチックの多くは 150 から 200 の比較的低い温度で製造されます。つまり、その性質上、原料や添加剤が溶け出す恐れもあるわけです。(これは、現在、市内小中学校で使用している「ポリカーボネード食器*」中のビスフェノール A という物質を考えても理解できます。) 添加剤などは種類だけでも 1000 を越えており、人体や環境に対して作用がよくわからない物質や人体に危険な物質も含まれております。いくらかの物質については、用途に応じ溶出量の規制が決められています。このような物質を使うプラスチック、たとえ、今回導入を予定している食器の製造に使われる物質は、環境ホルモンに該当しないとはいっても (環境庁から環境ホルモンに指定されているのは、わずか 67 種類のみです。) 規制量が決まっている物質を使うということは、たとえ規制値以下の使用でも安全ではなく、「多分大丈夫」というレベルのものではないでしょうか？

* この食器は「三信化工 (本社 / 東京) 」で全国の 80% を製造していましたが、この環境ホルモンの溶出の疑いが指摘された当時、同社相談役の青木勝一相談役は「給食の食器は、食べて、回収して湯につけて洗い、保管庫で熱風によって乾燥させるという過酷な使われ方をする。PC (ポリカーボネート) は経済性も含めてプラスチック樹脂は最高のもの。これがだめというのなら、代わりの食器は考えられず、もう絶望的。」と話

をしていましたが(98/08/04 読売新聞)今回、印西市では同社のPEN食器を導入しようとするのでしょうか?同じ轍を踏むのでしょうか?使用実績が全くないのに!私は非常に疑問です。

2.安全と言うのなら、印西市民にその検討経緯を含めて、プラスチック食器にした理由を説明すべきではないか?

~白井町や四街道市では「強化磁器食器」を導入しています。

3.学校給食法では、「学校給食の普及と健全な発達を図るように努めなければならない」旨を記載しているが、どのように考えるか?

以上のような、3点の再質問に対して、教育委員会からは満足の行く答弁は得られませんでした。皆様は「給食食器の変更について」、いかがお考えになりますか?

この食器変更については、12月8日に「印西市民有志の会」より以下の内容の請願が送られております。

以下 請願内容

印西市並びに印西市教育委員会では、市学校給食運営委員会の答申(*)に基づき、平成12年度に市内小中学校の給食用食器全面取替えの方針を打ち出しましたが、新しく導入を検討した食器についても、その安全性を疑問視する意見が強く、現在は方針の再検討を行っているようです。私達、印西市民有志の会も去る10月24日に「学校給食食器再検討のお願い」を、印西市長及び教育委員会委員長宛てに提出させていただきましたが、その後も給食食器の安全性を心配する保護者の声は高まっています。しかしながら、11月1日の市教育委員会が示した学校給食食器更新の方針は、当面の対策として、プラスチック製の食器による更新を行うものとしております。現時点では、プラスチック製食器の安全性を確認する事は、極めて難しいものと考えられますので、次の点についてお願いいたします。

1. 自校式のところや、高花給食センターのように建物や洗浄機などの設備が取り替え時期に来ている給食センターから順次に、食器をプラスチック以外の最も安全なものに変更する部分導入を遅滞なく行ってください。
2. 現在、市内小中学校に使用中のポリカーボネード食器の耐用年数が切れる平成14年度までに、プラスチック以外の最も安全な食器に全面的に取替えを実施してください。
3. 取替えについては、原材料や材質、工程などの安全性の調査を充分に行い、市民に情報を公開してください。

(*ぐんじ注/運営委員会の会長は「松本隆志氏」(印西市議/文教常任委員長)が務めております。この運営委員会では今年5回の会議が開催されましたが、会としての結論がまとまらず、全委員(8名)の個人意見を付して「協議報告」という形で最終的な結論を委員会として行っております。尚、会長の意見は安全性においても教育的効果でも「強化磁器」が最もベターな選択であるとの意見が付してあったことを加えて皆様にご報告します。)

一部のニュータウン選出の議員からは、強化磁器も落すなど安全ではないとの声も聞かれますが、それはプラスチック製食器が持つ危険性とは全く次元の違う話で、物事の本質を理解されていない発言であると思います。皆様はどのようにお考えになりますか?

+++++

(牧の原地区 在住の皆様へ)

12月16日(土曜日)にふれあい文化館にて近隣8自治会長を対象に「牧の原駅南側に複合施設誘致」に対する市からの「報告会」がございます。今回は、居住者皆様に対する「説明会」ではなく、自治会長への「報告会」になるとのことですが、詳細・疑問点等があれば各団地の自治会長、または私までお寄せ下さい。次回以降、この紙面で12月議会での私の代表質問に対する市からの回答を含め、詳細に取り上げて参りたいと思いますので、皆様からのご意見もお寄せいただければ幸いです。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会の報告を行って参りたいと思います。この紙面へのご批判、ご意見、また市政へのご提言をお待ちしております。よろしくご意見申し上げます。

ぐんじとしのり